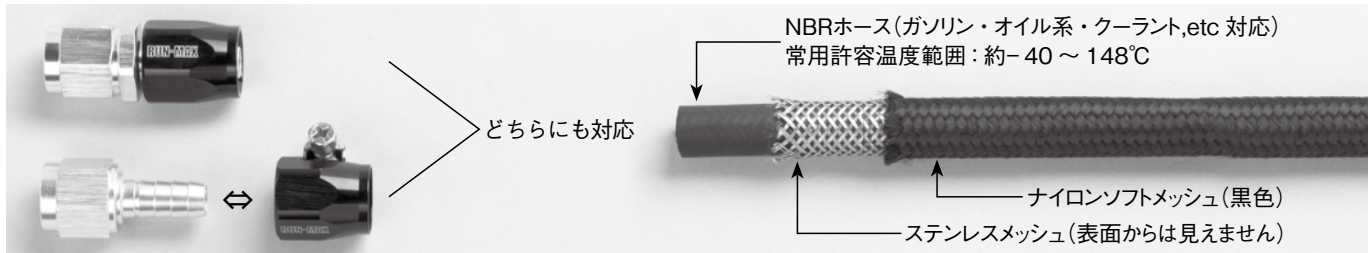
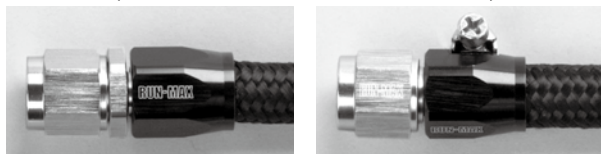


RUN-MAX FLEX NYLON BRAID HOSE

●ラン・マックス フレックス ナイロンメッシュホース(黒色) カラー：P7参照



[ホース/ホースエンド組み付け後]



このホースとの組み付けには、構造上 P75 のラン・マックスホースエンドをおすすめします。

軽くて柔軟性の有るホース

ワンポイントアドバイス このホースをカットするにはナイロンメッシュの特性上サンダーなどに薄い歯をセットして、ささくれないようカット部分にテープを巻いて切断するか、専用カッター P333 で切断するのが最適です。ノコギリ歯を使用しての切断は厳禁です。

品番	サイズ(#)	内径約(mm)	外径約(mm)	最大圧力約(Bar)	最小曲げ半径約(mm)	1m当り重量約(g)	価格(1m)
200-04	04	5.6	11.2	34	25.4	112	¥2,300
200-05 ★	05	6.4	12.7	34	25.4	126	¥2,400
200-06	06	8.7	14.2	34	31.8	141	¥2,400
200-07 ★	07	9.4	15.9	34	38.0	163	¥3,100
200-08	08	11.1	17.0	34	44.4	179	¥3,100
200-09 ★	09	12.5	18.2	34	44.4	245	¥3,500
200-10	10	14.3	20.1	34	50.8	321	¥3,500
200-11 ★	11	15.8	22.4	24	50.8	349	¥4,100
200-12	12	17.5	24.4	24	57.2	372	¥4,100
200-14 ★	14	19.0	26.1	24	63.5	413	¥4,900
200-16	16	22.2	29.2	24	69.9	476	¥5,500
New 200-20	20	28.5	35.8	24	102.0	659	¥9,500

[他種紹介] 他、ステンレスメッシュホース(アールズ製)のアイテムも有ります。P162を参照して下さい。
 上記★印にはホースエンド及びエコノメイトの設定は有りません。締め付けはエコノフィッティング(P82、P164参照)のみの対応となります。

ラン・マックス フレックス ナイロンメッシュホース VS アールズ フレックスSSメッシュホースとの比較

[柔軟性/最小曲げ半径]

サイズ	ラン・マックス(mm)	アールズ(mm)	比率約(%)
4	25.4	50.8	50%UP
6	31.8	63.5	50%UP
8	44.4	88.9	50%UP
10	50.8	101.6	50%UP
12	57.2	114.3	50%UP
16	69.9	139.7	50%UP
20	175.0	203.2	13%UP

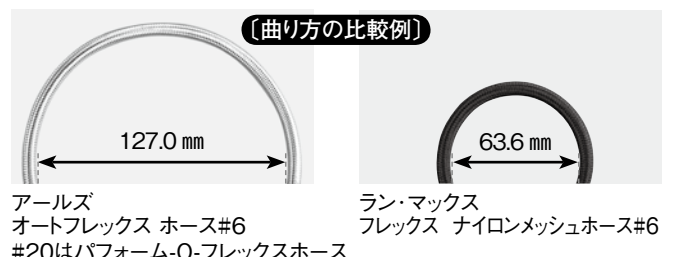
[重さ/1m当り]

サイズ	ラン・マックス(g)	アールズ(g)	比率約(%)
4	110	176	38%軽量
6	127	208	39%軽量
8	160	250	36%軽量
10	261	384	32%軽量
12	309	410	25%軽量
16	476	616	22%軽量
20	673	864	22%軽量

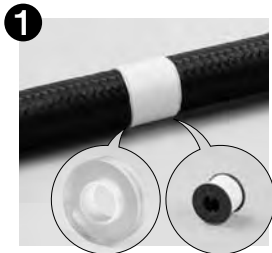
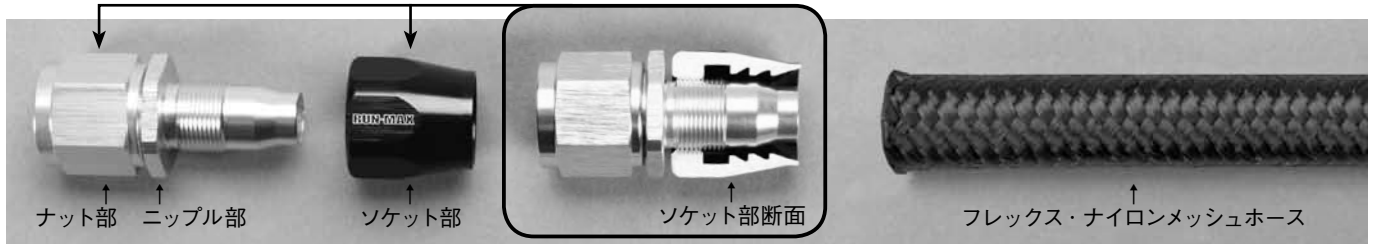
上記表でおわかりのようにステンレスメッシュホースでは考えられない程の柔軟性を持っています!! (全て約 1/2)
 ステンレスメッシュホースでの取り回しがかたくて苦労していませんか?

又、このホースの表面は、ナイロン系ソフトメッシュホースですのでボディーなどに傷を付ける心配も有りません。他、カラーも黒色なのでラン・マックスホースエンド(P75)との組み合わせで、エンジンルームをシックで落ち着いた感じに演出してくれると確信しています。

軽量によりエンジンの振れなどにより接合部にかかるストレスを軽減し、アダプター、ホースエンドなどの寿命を延ばします。



〔ラン・マックス ホースエンド⇄フレックス ナイロンメッシュホース組み付け手順〕



1 まずホースの切断する箇所に**P365**クリアラップテープ(粘着性の無い専用品)を巻き付けさらにその上から**P365**粘着テープでラップテープを固定します。



2 次に高速カッターやサンダーに薄い歯をセットして先程巻き付けた中心部分をカットします。(写真は弊社専用カッターを使用しています。)



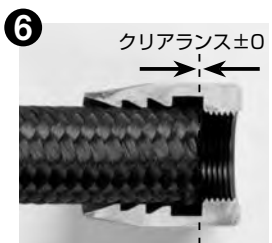
3 次に巻き付けた部分を手で外します。ホースに接触している部分は粘着性が無いので、切り口のささくれもなくスムーズに引き出せます。



4 次に**P332AN**アッセンブリーツール(専用工具)の内部にオイルを塗りソケットの部分にホースを差し込みます。その際ホースをねじりながら入れると中でメッシュ部分がささくってしまうので、下へ突く要領で入れ込んで下さい。



5 次に上記の作業が難しい場合キズが付かない物(例えば木の板)の上にホース部分を手で持ちソケット部を下へたたき付けながらホースを入れ込んで下さい。



6 次にホースの先端がソケット内部のネジの終わり部分まで来ているか確認して下さい。その状態でのクリアランスは±0です。



7 次にナット部分をバイスではさんで**P182**のアッセンブリールーブ(専用潤滑剤)などを塗布します。(この作業は必ず行って下さい。)



8 次に先程ソケット部にホースをセットした物とナット部分との組み付けですが先にネジ部分が噛み合うまで手で操作(廻し)して、そのままネジが固くなるまで手で締め込んで下さい。



9 次に締め付けですが、このホースエンドの構造上ホースが少し手前にずれてくる場合が有ります。その場合ホースを少し押しながらある程度までレンチで締め込んで下さい。

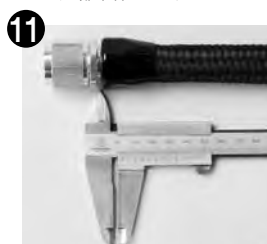


10 次にソケット部の本締めですが、キズ・スベリ防止の為**P330**アルミレンチ、又はアルミ製モンキーレンチ(専用工具)の使用をおすすめします。専用レンチ品番は下記表を参考にして下さい。

〔ラン・マックス ホースエンド対応 レンチ表〕

ホースサイズ(#)	ナット部/ラン・マックス品番	ソケット部/ラン・マックス品番
04	RT3034 or RT3204	RT3046
06	RT3046 or RT3206	RT3068
08	RT3068 or RT3208	RT3080
10	RT3080 or RT3210	RT3102
12	RT3102 or RT3212	RT3126
16	RT3126 or RT3216	RT3160
20	RT3160	—

※ナット部本締めには、P331ラン・マックス ANアルミホースエンドレンチセットをおすすめします。



11 最後にナット部分とソケット部分のクリアランスは、**2~3mm**(サイズにより誤差有り)が適正です。ノギスなどでチェックして下さい。